【評価シート】

平成２６年度業務実績評価

【資料2】

○県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の項目(資料２ページ数) （）内の数字は、項目別評価の項数				ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項 （評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
１　医療の提供	（１）政策医療の提供	①　県立中央病院	（１） ア　救命救急医療	12	S	5.0	4.3	4.5	4.5	4.5	4.56 S	○委員 ・症例数が減少している ○委員 ・「救急」の評価であり、「救命救急センターの機能」という点からの評価が十分でない ・救命救急センターの評価基準である厚労省の「充実段階評価」を参考にするなど評価の方法を見直す必要がある。○委員 ・前年を下回る項目もあるが、全体として優れた実績。 ○委員 ・広域連携による救命率の向上に期待する。
			（２） イ　総合周産期母子医療	14	A	4.0	4.4	4.0	4.5	4.0	4.18 A	○委員 ・退院支援コーディネータ配置による実績が見える。 ○委員 ・唯一の総合周産期母子医療センターとして、十分な機能を果たしている。新生児死亡率などアウトカム指標は、母数が小さいことから変動が大きいことから重点を置かなかった。 ・病院間の搬送件数など連携状況が分かる指標や産後訪問指導の状況が分かる資料の提示
			（３） ウ　がん医療	14	S	4.5	4.8	4.6	4.5	4.8	4.64 S	○委員 ・先端的な取り組みが行われている。 ○委員 ・ゲノム解析センターにおける遺伝子情報の個人情報の管理状況が不明 ・治療への活用などゲノム解析センターの貢献度が不明 ・患部別の手術件数や治療成績など県民に感心の高い指標を評価対象に加えること ○委員 ・がんセンター局を新設。相談件数、セミナー参加者が着実に増加。 ○委員 ・組織強化による体制の充実が評価できる。継続して県民への普及啓発を期待する。
			（４） エ　難病（特定疾病）医療	16	B	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00 B	○委員 ・政策医療の大切な一つであり、県内には、難病受給者証の所有者が４千人以上おり、パーキンソンなどの神経難病も５００人余を数えることから、引き続き充実に努める。

平成２６年度業務実績評価

中期計画の項目(資料２ページ数) （）内の数字は、項目別評価の項数				ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項 （評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
１　医療の提供	（１）政策医療の提供	①　県立中央病院	（５） オ　エイズ医療	18	B	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00 B	○委員 訪問看護師、訪問介護員等を対象とした研修を継続して頂きたい。
			（６） カ　感染症医療	18	A	4.0	4.3	4.0	4.0	4.0	4.06 A	○委員 ・エボラなど新型感染症予防体制の確立に努めている
		②　県立北病院	（７） ア　精神科救急・急性期医療	20	S	4.5	4.9	4.5	4.5	4.2	4.52 S	○委員 ・24時間対応の構築 ○委員 ・精神科医以外の専門医（内科）の配置を ○委員 ・通年稼働の病棟増により救急病棟の入院患者が大幅に増加。 ○委員 ・多職種治療チームによる統合的で一貫した医療の提供は評価できる。 ○委員 ・増加する医療ニーズに的確に対応している。 政策医療を推し量る資料として救急入院患者、措置及び医療保護による入院患者の割合を提示する必要がある。
			（８） イ　児童思春期精神科医療	20	A	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.02 A	
			（９） ウ　心神喪失者等医療観察法に基づく医療	22	A	4.0	4.0	4.2	4.0	4.0	4.04 A	○委員 ・社会復帰の支援状況が不明である。

○県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)				ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
１　医療の提供	（２）　質の高い医療の提供	① 医療従事者の確保	（１０） ア　医師の育成・確保	24	S	5.0	4.2	4.6	4.5	4.5	4.56 S	○委員 ・山梨大学とのより緊密な連携が必要 ○委員 ・研修医の新規採用増など実績が顕著
			（１１） イ　７対１看護体制の導入	26	A	4.0	4.2	4.2	4.0	4.0	4.08 A	○委員 ・多人数の採用、PNS看護提供方式の導入、夜間専従看護職員の配置等の取り組みは評価できる。看護職員確保と同時に定着対策の充実を期待する。 ○委員 ・医療従事者の確保という面からの評価が薄い。 ・確保策は示されているが、定着が手薄。 ・昨年度、創設した就職支度金の評価がない。公立病院にふさわしい施策とは言えないので廃止の検討を。 ・年休取得率など看護師の就労環境の改善を示す指標がない。
		② 医療の標準化と最適な医療の提供	（１２） ア　クリニカルパスの推進	26	B	3.0	3.3	3.0	3.0	3.0	3.06 B	○委員 ・今後、地域医療構想を推進する上で、地域連携パスは極めて大切なツールであることから、積極的な推進を図る必要がある。
			（１３） イ　診断群分類包括評価(DPC)の導入	28	S	5.0	4.8	4.7	5.0	4.5	4.8 S	○委員 ・DPCⅡ群の実績要件の見直しが検討されており、適切な情報収集、早期対応によって引き続きⅡ群の維持に努めること。 ○委員 ・DPC分析データの活用が顕著
		（１４） ③ 高度医療機器の計画的な更新・整備		28	A	4.0	4.3	4.1	3.5	4.0	3.98 A	○委員 ・投資に当たっては、必要性という機能面だけでなく、投資規模、投資の回収期間など収支も含めて検討する必要があるが、その検討状況が不明。 ・この項目に入れるのが適当か、という問題もあるが。共同利用の推進状況を提示。地域医療支援病院の指定には、必要となってくるので目標を設定して管理を。・・・(26)へ

○県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)				ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
１　医療の提供	（３）県民に信頼される医療の提供	（１５） ① 医療倫理の確立		30	B	3.0	3.1	3.0	3.4	3.0	3.10 B	○委員 ・県民に信頼されてこそ成り立つ医療である。院内医療従事者研修の継続をお願いする。
		（１６） ② 患者・家族との信頼・協力関係の構築		30	B	3.0	3.0	3.0	3.4	3.0	3.08 B	
		（１７） ③ 医薬品等に関する情報の的確な提供		30	A	4.0	4.0	4.1	4.5	3.5	4.02 A	○委員 ・病棟薬剤師の配置の取り組みは、医師・看護師の負担軽減、事故の未然防止の観点から高く評価。 ・お薬手帳の普及を図ることで、事故防止、薬品費の削減に繋がるので、普及率の把握を。 ○委員 ・病棟への専任薬剤師の配置や持参薬の管理業務の実施は評価できる。必要全部署への配置をお願いする。
		（１８） ④患者サービスの向上		32	A	4.0	4.3	4.0	4.4	3.5	4.04 A	○委員 ・ロビーでの対応が充実し、外部の評判も良好。
		（１９） ⑤診療情報の適切な管理		34	A	4.0	4.1	4.0	4.4	3.5	4.00 A	
		（２０） ⑥診療支援システムの充実		34	B	3.0	3.1	3.0	3.4	3.0	3.10 B	○委員 ・電子カルテやオーダリングシステムなどの二次活用を推進し、薬剤の管理指導など患者サービスの向上や業務の効率化を図る。
		⑦ 医療安全に関する情報の収集・分析	（２１） ア　リスクマネージャーの活用	36	B	3.0	3.2	3.0	3.0	3.0	3.04 B	○委員 ・リスクマネージャーの活用が具体的に見えない。
			（２２） イ　情報の共有化	36	B	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.00 B	

○県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)	ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
（２３） ２　医療に関する調査研究	38	S	4.5	4.9	4.5	4.4	4.9	4.64 S	○委員 ・本来の医療の提供という面への影響という観点から、適切な規模の検証が必要である。 ・地域社会や県民に効果的・効率的に還元していくための仕組みが必要である。 ・論文の無断借用、研究費の不正利用や薬品メーカーとの癒着などがマスコミを賑わすことが多いので、研究活動や治験についての倫理の確立が必要である。 ○委員 ・C型肝炎治療薬開発のための治験実施など実績顕著

○県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)		ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
３ 医療に関する技術者の研修	（２４） （１）医療従事者の研修の充実	40	A	4.0	4.0	4.2	4.4	3.5	4.02 A	○委員 ・研修の一元化を目指しての教育研修センターの設置は評価できる。今後の展開に期待する。
	（２５） （２）県内の医療水準の向上	42	B	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	3.02 B	○委員 ・基幹病院として、院内外の医療関係者に向けての研修等の開催を引き続きお願いしたい。

○県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)		ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
４　医療に関する地域への支援	（２６） （１）地域医療機関との協力体制の強化	44	A	4.0	4.0	4.2	4.4	3.5	4.02 A	○委員 ・地域医療支援病院は、政策医療を推進する上で、また収益面でもプラスになるので取得を目指すこと。
	（２７） （２）地域医療への支援	46	B	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	3.02 B	○委員 ・難しい課題であるが、中病への期待が大きいことから引き続き努力を。
	（２８） （３）社会的な要請への協力	46	B	3.0	3.0	3.3	3.0	3.0	3.06 B	○委員 ・看護師養成機関、地域医療機関等への講師派遣等の継続実施をお願いする。 ○委員 ・地味な分野であるが、公立病院として引き続き努力を。

○県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)	ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
（２９） ５　災害時における医療救護	48	A	4.0	4.3	3.8	4.4	3.5	4.00 A	

○業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)	ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
（３０） １　簡素で効率的な運営体制の構築	50	A	4.0	4.1	4.0	4.4	3.5	4.00 A	
（３１） ２　効率的な業務運営の実現	52	B	3.0	3.0	3.3	4.4	3.0	3.34 B	○委員 ・人員の弾力的な配置等による効率的な業務運営の実現を目指していただきたい。
（３２） ３　経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減	54	A	4.0	3.4	3.8	3.5	3.5	3.64 A	○委員 今後、材料費の伸びの抑制を期待。 ○委員 ・全体的にいえることであるが、目標による管理が充分でない。 ・診療報酬抑制時代に入り収入増が期待できない中、コスト管理の重要性が増しているが、コスト管理が充分でない。科別のコスト管理、一人当たりのパフォーマンスの管理の導入を検討すべきである。 ・未収金の事後徴収は困難な上、費用対効果の面からも問題があり、加えて、発生理由ごとの発生防止策に力を入れること。（例　生活困窮者や外国人への医療ソーシャルワーカーなどによる相談体制の整備や市町村との連携強化、入院時に家庭の事情の把握や各種の医療費助成制度などの説明の徹底や退院時一事払い制度の導入） ・後発医薬品の採用率については、年度、診療科別の目標を設け、着実な達成を目指す。 ・委託等契約におけるベンチマークの活用、削減目標の設定による組織的なコスト削減、DPCの定額部分のコスト削減、差額ベッドなど消費税対象経費の適正な転科など控除対象外 ○委員 ・平成25年度に特定共同指導による損失を計上したが、平成26年度にはさらに特定共同指導による自主返還額が増加し、診療報酬についてもH26年度から自主返還を行っており収入の減に繋がった

中期計画の項目(実績報告書ページ数)	ページ	H26年度法人の自己評価	古屋委員	木内委員	波木井委員	小沼委員長	手塚委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
（３３） ４　事務部門の専門性の向上	56	A	4.0	3.8	3.8	4.4	3.5	3.9 A	
（３４） ５　経営参画意識を高める組織文化の醸成	58	A	4.0	3.9	3.4	4.4	3.5	3.84 A	○委員 ・メリットシステムが示されていない。 ○委員 ・メリットシステム導入の進展を期待
（３５） ６　誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備	60	B	3.5	3.0	3.3	3.4	3.0	3.24 B	○委員 ・職員満足度調査によるポイントの上昇、看護師満足度調査による「職業的地位」、「患者サービス」4.5は評価できる。

○業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)	ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
（３６） ７　予算、収支計画及び資金計画、短期借入金の限度額	62	S	4.5	4.7	4.5	4.4	4.5	4.52 S	○委員 ・控除対象外消費税対策の強化 ・目標を定めて材料費の削減 ・職種ごと、常勤・非常勤ごとによる人件費の管理 ・交付税の算定基礎が許可病床から稼働病床に変わることを踏まえての病床利用率の向上 ○委員 ・計画を上回る利益を確保

○その他業務運営に関する事項

中期計画の項目(実績報告書ページ数)	ページ	H26年度法人の自己評価	委員	委員	委員	委員	委員	評価の平均	特記事項（評価についてのお考え・ご意見などありましたらお書き下さい）
（３７） １　保健医療行政への協力	68	A	4.0	4.2	4.0	4.4	3.5	4.02 A	
（３８） ２　法令社会規範の遵守	68	B	3.0	3.0	3.2	3.5	3.0	3.14 B	
（３９） ３　積極的な情報公開	70	B	3.0	3.0	3.3	3.5	3.0	3.16 B	
（４０） ４　移行前の退職給付金に関する事項	70	S	5.0	4.7	4.5	4.5	4.5	4.64 S	
（４１） ５　山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第５条で定める事項	72	A	4.0	4.3	4.1	4.4	3.5	4.06 A	

□全般的な事項

評価委員会は、病院機構の自己評価を基に評価するのであるが、今の評価の仕方には、以下のような課題がある。

・文書を主体とした評価だと、Ｓ，Ａ，Ｂなどの違いが明確に伝わらない。
・中期計画の項目と評価が対応しないものが見受けられる。
・客観性に欠ける
・経年の推移が把握しにくい

ついては、新たな中期計画のスタートを機に、以下について見直しの検討をお願いする

・可能な限り指標化する、もしくは補助資料として指標を付ける。
・指標化により、評価しやすくなるとともに、ベンチマーク比較や時系列比較が可能になり適切な評価が行える。